



発行所
福山民報社
 福山市霞町
 3丁目4番25号
 TEL 922-2815
 Eメールアドレス
info@fjcp.com
 ホームページアドレス
<http://www.fjcp.com/>

2014年度普通会計決算見込み 41億円余の実質黒字

基金総額 291億6707万円余

優位な福山市財政で市民のくらしを守れ

市財政局は8月、2014年度福山市普通会計決算見込みを公表しました。

歳入総額1734億96万3千円、歳出総額1686億9916万3千円で、歳入歳出差引額47億180万円、実質収支41億2098万9千円の大黒字となります。

その要因は、市税収入が前年度並みの729億円確保できたことや、地方消費税交付金が消費税率改定の影響で、9億5千万円増加したことなどがあげられます。

人件費は7年連続の減少
 歳出では、人件費が7年連続の減少で2010年と比較して年間43億円減少しています。団塊時代の退職が落ち着いたこともあり、正規職員を減らして臨時職員を増やしたことなどで、全体的にはサービスの後退や労働強化がうかがわれます。

市の借金も4年連続減少
 市債は、4年連続で減少し、前年比39億5800万円の減、総額1511億4300万円で、市民1人当たり32万1千円。広島県内市では最も少額です。市の借金は少ないにこしたこ

とはありませんが、必要な施策や投資が行われないなら、単純に評価することはできません。例えば、足りない特別養護老人ホームの増設や中学校給食棟などの建設は、当面借金をしても実現することを目指す。例えは、足りない特別養護老人ホームの増設や中学校給食棟などの建設は、当面借金をしても実現することを目指す。

財政健全化判断比率 問題なし

実質収支額、連結実質収支額とも黒字

財政の健全度を見通す健全化判断比率は、実質赤字比率、連結赤字比率共に赤字はありません。

実質公債費比率は5.6、

2016年度予算編成に 福山市の財政力を生かせ

9月議会の一般質問で高木たけし議員が、新年度の予算編成に、市民のくらし

福山市の財政は健全度が

1、税の確保について、法人市民税の引き下げは行わないこと、今後の消費税増税は行わないことを国に求めよ。

2、国の医療・福祉予算削減に追随することなく、必要な予算の確保に努めること。

3、自治体リストラフの見直しを行い、必要な正規市職員を確保すること。

4、福山市独自の中小企業向け無利子・無担保融資制度の創設、中小業者の仕事確保、地域活性化の予算の具体化を。少人数学級実現と正規教職員の確保や、教育課題校への市独自の教職員やソーシャルワーカーを加配する予算を確保すること。

5、遅れている校舎の耐震改修、保育園や幼稚園、公的施設の耐震化予算を大幅に増やすこと。

6、新たな工業団地造成などの大型公共事業推進は抑制し、公共事業は老朽化した橋の架け替えや補強、ため池改修、生活道路の維持補修、周辺部への転落防止柵設置、急傾斜地対策や砂防堤予算を基本的に強化して、防災に努めること。

7、子育て支援の重要な要として、乳幼児医療費助成制度の拡充を行うこと

8、

だれの子どももころさせない

ママ・パパ・若者パレード in ふくやま

小雨の中を元気に100人



9月6日、戦争に行かせたくないママ・パパの会inふくやまは、福山駅前釣り人広場で集会を開きました。

国会で安保法制の審議が続く中、自分の子どもを守ることで、自分の子どもを守ることで、ママさんが相談し、同じ気持ちの人たちに呼びかけようと企画しました。

前日の夜は大雨。朝の内も雨が続いていましたが、開会時間になると、小さな子どもを抱きかかえたパパさんやママさんが次々と集まってきました。

この先、孫の未来がどうなるのか考えると、居ても立ってもおられないと二人の女の子の手をひて駆けつけたじいじはあは「さん、保育士さんなど、100人を超える集会となりました。

集会では、安倍首相に送付するアピール文を採択し、その後、市役所周辺、商店街をパレードしました。ママは戦争しないと決めた「戦車に乗るなら三輪車」鉄砲持っなら水鉄砲と、ママ・パパコールを響かせました。

宮通りでは、ベビーカーを押したママさんが飛び入り行進するなど、元気いっぱいパレードとなりました。子どもたちも約1キロを元気に歩きおきました。